



第3期：平成23年度事業報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日



目 次

I. 概要	2
II. 実施事業	3
(1) 障害者福祉サービス介護保険に係る事業	
1. 障害スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業	3
1-1. 障害者スポーツ団体組織化および運営支援事業	
1-2. 障害者スポーツ研修会・大会への参加	
2. 障害者（児）および高齢者のデイサービス事業	3
2-1. 日中活動系サービス事業	
2-2. 児童デイサービス事業	
2-3. 日中一時支援事業	
2-4. 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業	
3. 障害者スポーツ用品製作及び販売	7
3-1. 障害者スポーツ用品の試作・製作	
4. 障害者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業	7
4-1. 居宅介護事業	
4-2. 訪問介護事業	
5. 障害者ならびに障害者についての啓発に関する事業	8
5-1. 講師派遣事業	
5-2. 全身性障害者移動介護従業者養成研修	
5-3. 視覚障害者移動介護従業者養成研修	
6. 障害者自立支援法に基づく移動支援事業	9
6-1. 移動支援事業	
III. その他の社会貢献	9
(1) 介護等体験実習生の受け入れ	
(2) ボランティアの受け入れ	
VI. 法人の運営に関する事項	10
(1) 平成23年度理事会・評議員会の開催	

I 概要

平成 16 年 2 月 17 日に特定非営利活動法人の認証を受け名称をアス・ライフサポートとしてスタートした。平成 16 年 7 月に支援費制度（当時）および平成 16 年 8 月に介護保険事業を開始、制度の変遷の波にもまれながら、独自の障害者支援の道を歩んできた。

平成 20 年 2 月 4 日に第 1 回社会福祉法人アス・ライフ設立準備委員会を開催し、4 回に亘る準備委員会を重ねて平成 21 年 7 月 8 日に山口県から社会福祉法人の認可を頂いた。

翌年に山口県及び山口市の施設整備補助金を頂き、念願であった施設建設工事を行い平成 22 年 2 月 26 日に竣工した。

施設の完成に伴い NPO 法人アス・ライフサポートの全ての事業を平成 22 年 4 月 1 日付けにて社会福祉法人アス・ライフに継承し、駅通りの施設で障害者自立支援法による生活介護・機能訓練・生活訓練の障害者福祉サービス事業所アス・ライフとして開始した。

また大市町にあった介護保険通所介護事業所アス・デイサービスセンターを大市デイサービスセンターに名称を変更して 7 人定員にて、また訪問・居宅・重度訪問介護事業所アス・ヘルパーステーションは引き継ぎ同事業所にて再スタートした。中園町にある児童デイサービスフォア・アスも現状を引き継ぎ再スタートした。今年度は 990 万円の補助金を受けて全面改装し、バリアフリー化した。

アス・ライフでは前年、平成 23 年 2 月 14 日に山口県支援基盤整備補助金を頂いて特別浴槽一式を設置し、利用者の重度化に対応しサービスの質の向上に努め、介護保険・障害福祉サービスともに、利用者のニーズを大切に、障害者・高齢者の在宅生活を底支えする支援を心がけていった。

スポーツ支援では、日中活動系サービスでの練習機会の提供、ガイドヘルパーによる練習や大会参加の支援を積極的に行った。また、商店街連合会共催で商店街福祉セミナーを 3 回実施し全身性障害者、視覚障害者及び認知症の買物支援について講義して、延べ 96 名参加を得た。

収支面では、今年度、着実な利用者増加により第 3 期も経常ベースで黒字決算となった。

障害があろうとも生き生きと生活していくことを支えるというアス・ライフの理念を将来にわたって実現するため、まだまだ経営の改善に取り組んでいく所存である。



社会福祉法人アス・ライフ 本部
平成 22 年 2 月 26 日竣工



ダイルーム

児童デイサービス
フォア・アス



多機能トイレ

II 実施事業

(1) 障害者福祉サービス・介護保険に係る事業

1. 障害者スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業

1-1

事業名 障害者スポーツ団体組織化および運営支援事業

概要 山口県ボッチャ協会、電動車椅子サッカーチーム「ブルーフォックス」事務局を山口市駅通り1-3-10アス・ライフ内に設置しており、期を通して運営の支援を行った。



1-2

事業名 障害者スポーツ研修会・大会への参加

概要 以下のスポーツ大会への障害者の参加を支援した。

- ・おいでませ！山口大会リハーサル大会

平成23年5月22日 維新百年記念公園・山口きらら博記念公園他各会場

- ・第11回全国障害者スポーツ大会おいでませ山口大会

平成23年10月22日～24日 維新百年記念公園他各会場

- ・山口県障害者交流卓球バレー大会

平成23年12月11日 維新百年記念公園スポーツ文化センターレクチャールーム

- ・Japan Cap (ボッチャ)

平成24年1月6日～8日 横浜ラポーレ

- ・第3回西日本ボッチャ大会

平成24年2月3日～5日 大阪市舞洲障害者スポーツセンター

- ・第9回山口県障害者交流ボッチャ大会

平成24年2月26日 維新百年記念公園スポーツ文化センターアリーナ

- ・山口県障害者フライングディスク交流大会2012

平成24年3月10日、山口県きらら博記念公園多目的ドーム

- ・その他各競技において、定期練習、合同練習、強化練習の支援を期を通して行った。また指導員・審判員を招いて卓球バレー等の勉強会を行った



2. 障害者(児)および高齢者のデイサービス事業

2-1

事業名 日中活動系サービス事業

概要 障害者自立支援法の日中活動系サービスである「生活介護：定員25名」、「自立訓練（機能訓練）：定員12名」、「自立訓練（生活訓練）：定員6名」および日中一時支援のサービス提供をアス・ライフ（山口市駅通り）で行った。サービス提供日は、毎週月曜から土曜日（祝祭日もサービス提供。年末年始は12月30日から1月3日まで休み。）行った。

今期は社会福祉法人2年目を迎え、少し腰を落ち着けてのサービス提供を行うことが出来た。

利用者の身心や生活の状況・個性に応じて、入浴および昼食の提供、創作活動、機能リハビリ、社会適応訓練、相談業務およびレクリエーションなどを行った。年間行事として、花見(平成23年4月7日維新公園)りんご狩り



(平成23年10月5日、11日、27日徳佐なかおりんご園)、クリスマス会(平成23年12月19日～24日、アス・ライフ)初詣(平成24年1月6日、7日、12日、16日防府天満宮)などを行った。

とくに利用者一人一人と接することを大事にしながらサービス提供を行っている。身体介護は原則同性介護で行っている。

利用者数 登録利用者数（平成24年3月現在）

- ・生活介護：50名
- ・機能訓練：3名
- ・生活訓練：1名
- ・自費：2名
- ・合計：56名

述べ利用者数（平成23年4月～24年3月、事業日数：310(309)日、単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	331	334	352	359	358	366	363	330	335	335	361	398	4,222 (3,520)
機能訓練	54	77	86	75	84	82	67	67	68	68	46	40	814 (527)
生活訓練	7	3	3	7	11	3	0	0	0	0	0	1	36 (109)

生活介護 自費利用	5	2	5	3	4	4	4	1	2	2	5	3	40 (34)
合計	397	416	446	444	457	455	434	398	405	405	412	442	5,111 (4,190)

※ () は前年 (平成22年4月～23年3月) 実績

利用者数 登録利用者数 (平成24年3月現在)

・日中一時： 12名

のべ利用回数 (平成23年4月～24年3月) (単位：名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29	32	32	32	30	34	32	34	43	41	49	67	455 (258)

2-2

事業名 児童デイサービス事業

概要

就学している障害児の放課後支援の受け皿が不足しているため保護者・家族が非常に困窮している状況を少しでも解消し、障害児が適切な療育を受ける機会を提供するため、児童デイサービスⅡ型の事業を行った。佐々野久男 (元下関養護学校 (校名：当時) 校長) を施設長に山口市中園町の民家を賃借し、定員10名でサービス提供をした。また今年度は福祉大学卒業の正職員を1名増員し、人員体制を手厚くして毎週月曜から土曜までサービス提供を行った。



利用者数 登録利用者数 (平成24年3月現在)

55名 (男子32名、女子23名)

のべ利用者数 (平成23年4月～24年3月、事業日数：308(295)日) (単位：名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
261	246	269	248	232	257	253	244	222	222	208	239	2,901 (2,775)

※ () は前年 (平成22年4月～23年3月) 実績

2-3

事業名 日中一時支援事業

概要 とくに学校の長期休業中には、就学障害児の預かりニーズが高くなる。通常の児童デイサービスの定員で受け入れできなくなるケースについて、児童デイサービス「フォア・アス」で日中一時支援による預かりで対応した。

利用者数 登録利用者数（平成24年3月現在）

49名（男子28名、女子21名）

のべ利用回数（平成23年4月～24年3月）

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
38	14	14	47	45	35	25	24	40	36	29	47	406 (297)

※（ ）は前年（平成22年4月～23年3月）実績



支援報告

4月当初は、新しい学齢児が例年に増して利用することとなった。自閉症児の割合も一段と高くなり、新しい環境の下、子どもたちが施設になれることが急務であった。異年齢の子供たちが同じ空間で活動するためには、一人ひとりの子どもの個性（特性）をしっかりと把握し、支援することが必要不可欠であった。

5月の連休明けには、新しい子どもたちのケースカンファレンスをもち、支援の方法や配慮すべき事項などを共通理解することに努めた。

長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）及び土曜日も、多くの子どもたちが利用し、日ごろの放課後活動とは、ひと味ちがう活動内容も多岐にわたった。具体的には、河川プールや身障者センターのプール、維新児童公園、大歳公園、小鯖運動公園、美東道の駅の運動公園、仁保道の駅の大型遊具〔裏〕などの外遊び、各ドラッグストアや百元ショップ（コスモス、ダイソー、メディコ21）などの買い物体験、夏休みのカレー作り週間、夏祭り週間、など多くの活動を行った。日々の生活を大切にしながら、子ども一人ひとりが支援を受け積極的に取り組む姿勢は、必ず一人ひとりの生活力を高めていくものと考えている。

問題点及び課題

(1) 児童デイサービス事業

① 常時、利用児童の定員は、十分に確保できている。年度当初から次年度の利用予

約を伴う見学者が多く、受け入れ困難な状況であった。(3月15日現在21名の見学者があった。)

- ② 施設の手狭さが、活動したい内容と、それを保障するスペースを構造化し、子どもの活動をスムーズにすることが困難であった。
- ③ ②とも関連するが、他の刺激(大きな音や人の声など)を過敏に受ける子どもが多く、活動支援の効果がそがれることが多かった。
- ④ メリットとしては、他児の活動を妨害することが、相手の気持ちをマイナスにすることを体験し、順番を待つことを覚えたり、他者との折り合いの付け方を学習し、SSTを高めることに繋がることもある。
- ⑤ いろいろな障害をもった子どもたちが沢山利用している。基本的な障害の特性を支援者が理解をし、特化した支援方法を支援者全体で高めていき、専門性の高いサービスをする必要がある。気をつけなくてはならないのは、障害の種類でひとくくりをするのではない。一人の子ども(人として)の必要な支援を心がけることが必要。

※ 解決手段として

3月6日(火)より施設内の大改修・増築工事が完了し、施設全体をバリアフリー化し、トイレの改修増設、フロアの段差解消、各活動コーナーの設置、更衣室の設置、個人ロッカーの設置、調理活動の日常化に伴うIH化したシステムキッチンの導入などを図った。

※ (平成23年度障害者就労支援特別対策事業補助金〔事業者分〕(障害者自立支援基盤整備事業) 山口県を受ける。

(2) 日中一時支援事業

- ① 児童デイサービス事業と同じく、希望者が増加傾向にある。職員を配置することが困難な場合が多い。
- ② 報酬単価が低く、職員を配置しにくい。

研修会・見学等

- ① 社会福祉法人等新任職員研修会 4月21日、22日
- ② 児童・障害者福祉施設中堅職員研修会 1部 9月8日、9月18日
- ③ // 2部 11月21日、22日
- ④ 山口市自立支援協議会〔定例会議〕 山口市地域支援協議会
- ⑤ // 障害児部門会議
- ⑥ 生徒に係る連絡会 山口大学附属特別支援学校 10月4日
- ⑦ 発達障害理解促進セミナー 9月25日
- ⑧ 山口総合支援学校小学部 利用児童の授業見学 9月2回

- 保護者会
- ・事業の経過報告と中期ビジョンについて 11月10日
 - ・第4回お餅つき会の支援について
 - ・施設大改修工事の概要について

その他

- ① 平成23年度共同募金会より
・療育機材整備事業として 674,000円 仲良しランド 他8点
- ② 障害者自立支援基盤整備事業 山口県
・事業整備補助として 9,330,000円 受ける。

2-4

事業名 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業

概要 訪問介護と通所介護の管理者を一本化してそれぞれのサービス連携がとりやい組織体制をつくり大市デイサービスセンター（山口市大市町）で、高齢者デイサービスを行った。

利用者の身体状況・個性に応じ、入浴・食事の提供、創作的活動、機能リハビリ、介護方法の指導、社会適応訓練、カウンセリングおよびレクリエーションなどのサービス提供を行った。

現在の公的介護サービスでは、障害者自立支援を利用する障害者も満65歳になれば、介護保険による介護給付もしくは介護予防給付に移行する。ライフスパンを通してアス・ライフの通所サービスを提供できるよう、介護保険および介護予防通所介護のサービス提供を継続している。

満65歳で障害者も介護保険に移行していくことは、障害者が生涯にわたって在宅生活をしたと望むときに、大きな制度的障壁として立ちのぼる深刻な問題ではなかろうか。私たちとしてもこの問題には大きな関心をもっていきたいと考えている。



年間行事

1) レクリエーション

H23年4月5日・6・9日	花見（一の坂周辺）
4月15日	花見（徳佐八幡宮）
5月20日	藤棚散策（毛利邸）
8月17日・19日	そうめん流し
10月7日・12日	りんご狩り（徳佐中尾りんご園）
12月21日・23日	クリスマス会
H24年1月13日	初詣（山口出雲大社分院）
H24年1月14日	初詣（防府天満宮）

利用者数 登録利用者数（平成24年3月現在）

・介護保険通所介護：	8名
・介護予防通所介護：	3名
・合計：	11名

のべ利用回数（平成23年4月～24年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	76	70	62	65	77	80	76	82	79	73	71	79	890 (1,018)

※（ ）は前年（平成22年4月～23年3月）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	0	0	0	5	4	6	16	13	15	15	17	16	107 (0)
合計	76	70	62	70	81	86	92	95	94	88	88	95	997 (1,018)

※（ ）は前年（平成22年4月～23年3月）実績

3. 障害者スポーツ用品製作及び販売

3-1

事業名 障害者スポーツ用品の試作・製作

概要 アス・ライフにおいて、必要とする利用者さんに適したボッチャ用具、卓球バレーラケットおよび関連用具の試作・製作を行った。



4. 障害者(児)および高齢者の居宅訪問介護サービス事業

4-1

事業名 居宅介護事業（障害者自立支援）

概要 障害者の在宅での自立生活を支援するため、山口市内外の利用者へ居宅介護および重度訪問介護のサービス提供を行った。

利用者数 登録利用者数

- ・居宅介護 11名（名）
- ・重度訪問介護 1名

のべ利用回数

- ・訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
112	123	128	131	126	129	134	129	128	125	121	132	1,518 (1,755)

・重度訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	8	7	9	7	5	6	9	9	7	8	8	89

※（ ）は前年（平成22年4月～23年3月）実績

4-2

事業名 訪問介護事業（介護保険）

概要 高齢者の在宅での自立生活を支援するため、介護もしくは支援を要する高齢者に介護保険訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行った。

利用者数 登録利用者数

訪問介護： 14名

介護予防： 20名

経過的予防介護： 0名



述べ利用回数（平成22年4月～23年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	199	189	211	220	212	234	249	245	251	240	247	276	2,773 (2,363)
介護予防	69	81	87	94	103	103	104	123	130	125	126	138	1,283 (741)
合計	268	270	298	314	315	337	353	368	381	365	373	414	4,056 (3,103)

※（ ）は前年（平成22年4月～23年3月）実績

年間行事

1)ヘルパー会議

H23年 5月 27日 ヘルパー会議・研修（脱水とバイタルサインについて）

7月 9日 ヘルパー会議・研修（在宅におけるアロマ）

9月 30日 ヘルパー会議・研修（制度・サービスの理解）

11月 25日 ヘルパー会議・研修（職業倫理と接遇について）

H24年 1月 27日 ヘルパー会議・研修（認知症について）

3月 30日 ヘルパー会議・研修（緊急対応について）

2)外部研修参加状況

H23年 6月 11日 「在宅におけるアロマ」

6月 12日 「認知症ケアの理論」

7月 29日 「移乗・移動の介護」

- 9月13日 「障害者の在宅ケア 事例発表」
「山口市の障害福祉のサービスについて」
「視聴覚障害者とのかかわりについて」
- 9月17日 「身近な材料での調理実習」
- 11月2日 「褥瘡予防研修」
- 11月12日 「在宅における感染予防」
- 12月14日 「震災ドキュメンタリー追い詰められた高齢者たちの取材を通して」
- 12月17日 「認知症の人に寄り添う」
- H24年 1月25日 「エビデンスに基づいた排泄ケア」
- 2月4日 「在宅緩和ケアによる栄養管理の考え方」
- 2月18日 「ALSケアについてと、モデルを利用した吸引の実際」
- 2月22日 「在宅緩和ケア事例検討会」
- 2月29日 「福祉サービス苦情受付担当研修会」
- 3月4日 「認知症の理解と関り」
- 3月17日 「災害時における介護職員の役割」
- 3月17日 「ストーマー（人工肛門）ケア研修」

5. 障害者ならびに障害者についての啓発に関する事業

5-1

事業名 講師派遣事業

概要 障害者に対する社会の正しい認識を高めるため、各種団体・小中学校・施設などの講演への講師派遣を行った。

5-2

事業名 全身性障害者移動介護従業者養成研修

概要 尾畑敏江氏（山口コ・メディカル学院）をメイン講師に招き、アス・ライフで研修を実施した。尾畑氏の全身性障害者の移動介護の知識・技能を習得した人材を育成した。今期の研修は、平成17年の第1回以来、第10回となる。平成23年4月17日および4月24日（全2日間）に実施した。講習には18名が参加した。今回はホームヘルパーでない人も対象として受講生を募集したところ、1名の受講があり、これら1名については受講日を別途4月17日～18日の間の2日ほど規定の課程を実施した。18名全員が規定の全課程を修了した。今回の修了者を含め延べ187名の従事者を輩出した。



6. 障害者自立支援法に基づく移動支援事業

6-1

事業名 移動支援事業（地域生活支援事業）

概要 全身性障害者・視覚障害者の移動支援（地域生活支援事業）を行った。

移動支援は、地域生活支援事業の一つとして障害者に提供される福祉サービスであり、事業所は利用者が居住する各市町と事業委託契約を結んでサービス提供を行う。外出時の介助が必要な障害者にとって、きわめて有意義な制度であり、アス・ライフがとくに力を入れている事業の一つである。（旧）アス・ライフサポートがサービス提供を始めた頃には、制度の存在自体の認知度が低かったが、サービス提供と従業者養成研修を合わせて実施してきたことで、行政担当者や利用者の間での認知が高まってきたものと自負している。

利用者数 登録利用者数 全身性： 33名
視覚障害：15名
合計：48名

述べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身性	43	54	46	48	42	59	65	57	63	45	63	55	640 (463)
視覚	17	19	21	20	23	19	24	23	20	16	20	18	240 (171)
知的	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2 (20)
合計	60	74	67	68	65	78	89	80	83	61	84	73	882 (654)

※（ ）は前年（平成22年4月～23年3月）実績

Ⅲ. その他の活動

(1) 「介護等の体験」実習生の受け入れ

教育職員免許法の特例にもとづく山口県社会福祉協議会の依頼により、「介護等の体験」実習生を年間を通して受け入れた。

今期は、合計34名（山口大学）の実習生を受け入れ、H23.6/13～10/28の間に、アス・ライフにて12名、H23.6/13～12/16の間に大市デイサービスセンターにて22名、それぞれ月曜から金曜まで各々5日間の実習をおこなった。また、介護基礎研修の実習生をアス・ライフにてH23.6/20～6/30に2名、大市デイサービスセンターにてH23.6/20～7/14に4名、アス・ヘルパーステーションにてH23.6/21～8/26に17名、合計23名を受け入れた。実習生は、高齢者・障害者とのコミュニケーションやレクリエーションを実地に体験した。

(2) ボランティアの参加

今期は、囲碁、将棋、クリスマス、もちつき大会など、58名の方がボランティアとして参加し、レクリエーションやボッチャ等のスポーツ活動の支援をしてくださった。

(大市デイサービスセンター10名 / フォア・アス 25名 / アス・ライフ 20名)

(3) 福祉セミナー

今年度は山口市商店街連合会と協同で商店街から発信する心のバリアフリーというテーマで福祉セミナーを3回ほど開催した。第1回目(H23.8.26)は山口コ・メディカル学院尾畑敏江先生を講師に招き、全身性障害者とのかかわりや商店街店舗としての買物支援について話を頂いた。

第2回目(H23.9.13)は元山口県このみ園 藤尾幸恵先生を講師に視覚障害者とのかかわりについてと商店街店舗としての買物支援について講義を頂いた。第三回目(H23.11.8)は保健師渡邊壽先生と山口市健康福祉部の認知症サポーター養成講座から受田保健師の2名で認知症の症状、認知症の方への対応とその予防、認知症サポーター等について講義をいただいた。

VI. 法人の運営に関する事項

(1) 平成23年度理事会・評議委員会の開催

理事会		評議員会	
平成23年 5月28日	第1回理事会	平成23年 5月28日	第1回評議員会
平成23年 5月28日	第2回理事会	平成23年11月28日	第2回評議員会
平成23年11月28日	第3回理事会	平成24年 2月 8日	第3回評議員会
平成24年 2月 8日	第4回理事会	平成24年 3月26日	第4回評議員会
平成24年 3月26日	第5回理事会		

特記事項

H22年度事業報告、決算報告、監査報告及びH24年度事業計画、予算案について承認。

H23・H24年度の役員改選重任について承認。

就労移行支援事業所の開設準備及び人員体制について承認。

苦情解決第三者委員2名の選任について承認。

就業規則、諸規定の改正について承認。

児童デイサービスフォア・アスのバリアフリー化改修の承認。

大市センター通所介護施設、訪問介護事業所の新築計画及び土地購入計画の承認。

(以上)